

# 日本経済の現状と課題

立正大学学長 吉川 洋  
よし かわ ひろし

- \* コロナ不況の特徴は消費の大きな落ち込み
- \* 消費はゴールデンウィーク後から回復
- \* 乏しかったアベノミクスの成果
- \* 貯蓄の持続的上昇の背景に将来不安
- \* 高齢化と格差拡大の関係について
- \* 社会保障は格差拡大の防波堤
- \* 財政を圧迫し続ける社会保障関係費
- \* 成長の鍵はやはりイノベーション
- \* 中小企業だから救済するはおかしい
- \* 消費税が安定財源として不可欠



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
本日は、立正大学の学長の吉川先生において  
いただきました。

吉川先生は東京大学ご卒業後、エール大学で  
博士号を取られ、東大の教授を長くされた後、  
立正大学に移られて、今学長をされておられる  
ということでございます。

経済全般にわたって、このコロナの危機を経  
て世界がどういふふうに変わっていくのか、日  
本がどういふ課題を抱えているのか、そういっ  
たことを今日はご専門の立場からじっくりお話  
をいただけたと思います。

それでは吉川先生、よろしく願いましたま  
す。（拍手）

吉川 ご紹介にあずかりました吉川でござい

ます。私、マスクを取って話させていただいて  
よろしいんですね。

**柴生田** 大丈夫です。

**コロナ不況の特徴は消費の大きな  
落ち込み**

吉川 距離もありますので、恐縮ですがマス  
クなしで話をさせていただきます。

先ほどご紹介いただきましたが、私、現在立  
正大学におります。ご存じのとおり立正大学は、  
石橋湛山先生にたいへん縁が深い大学でござい  
ます。立正大学というのはご存じかと思いま  
すが、日蓮宗立正安国論から来ています。

私自身は日蓮宗ではないですが、湛山先生の  
ことはもちろん知っていました。また、小日本